

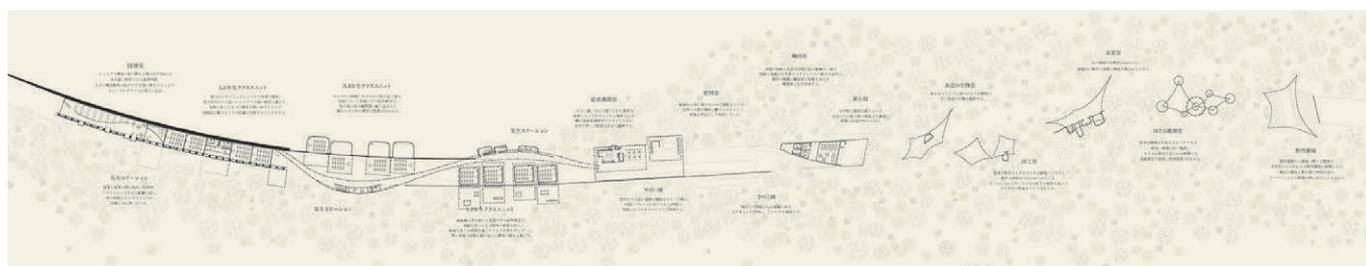
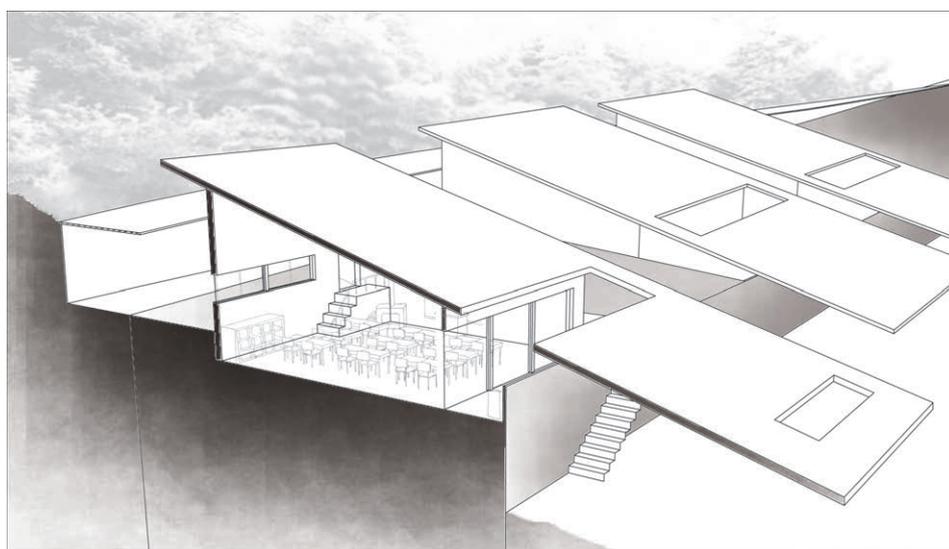
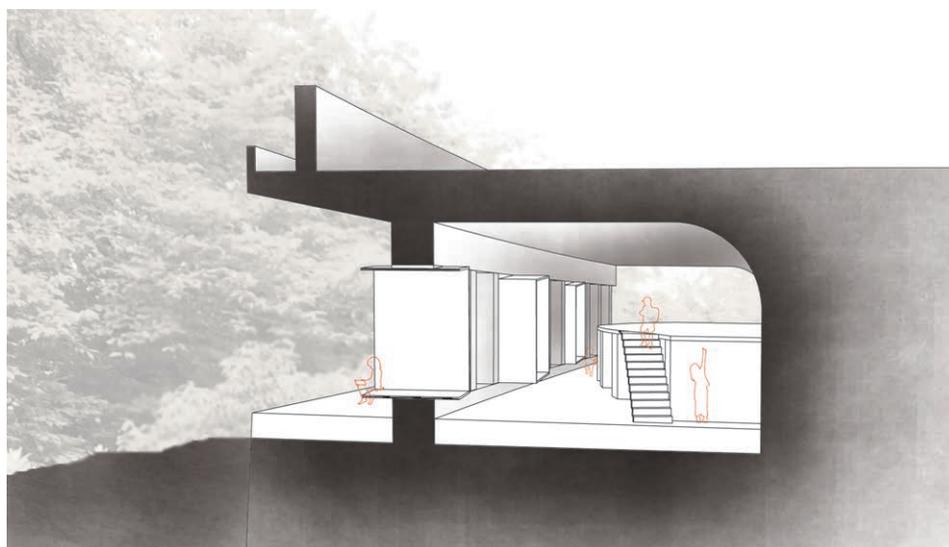
名城大学建築同窓會會報

●発行/2017年4月1日 ●編集/名城大学建築同窓會會報委員會

No.145

INDEX

会長・学科長あいさつ	1・2
情報交流会	3
支部だより	3・4
同窓会新規ホームページ	5
建築学科教職員	5
建築同窓会賞	5
就職情報	6
平成27年度事業報告	7
平成27年度決算報告	7
平成27年度会計報告	7
平成28年度事業計画	8
平成28年度予算	8
会則	9
表紙・裏表紙解説	10
平成28年度役員	10



最優秀賞 遺構が描く里山の風景：土木遺構となった弥富相生山線の小学校としての活用 吉川 千由希



建築同窓会会長

岡野 廣海

(昭和50年卒)

名城大学建築同窓会の会員の皆様方におかれましては、各地各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日ごろから建築同窓会活動にご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

平成28年6月12日の総会において、平成28年度、29年度の会長職を務めさせていただくことになりました。微力ではありますが、諸先輩の方々が築き上げてこられた建築同窓会の継承とさらなる発展を目指して、役員一同精一杯力を注いでまいりたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、名城大学開学90周年を迎えた昨年は、名古屋ドーム前キャンパスがオープン、天白キャンパスにおいては新校友会館が開館し、旧校友会館の跡地を含む正門へのアプローチ整備も進められており、今春には新たな装いになります。この開学90周年を機に建築同窓会では、昨年6月の総会で承認をいただき、母校へ支援として6月14日寄付金50万円を開学90周年募金として大学へ贈呈いたしました。

そして、大学では10年後の開学100周年に向けて動き始めました。私達卒業生としても、さらに母校が発展し魅力ある大学になっていくことを願い、建築同窓会としても様々な形で支援・協力をしていきたいと思っていますので、会員の皆様方におかれましては是非ともご支援・ご協力をお願いいたします。

次に、平成28年度の主な同窓会活動についてご報告させていただきます。

①会報、ホームページによる情報発信：昨年8月からホームページを一新し、随時ホットな情報を発信しております。スマートフォンでも閲覧できますので、一度ご覧いただければ幸いです。

②卒業生、そして在学生や先生方と語り合い、交流を深める場としてのメインイベントの情報交流会の開催：昨年11月19日(土)に天白キャンパスで開催し、多勢の同窓会員、教員、在学生が集い、交流を深めることができました。同窓会員への周知不足等まだまだ課題や反省点はありますが、有意義なひと時の交流会となりました。

③建築学科在学生への支援：4つの講演会等へ支援を行いました。以上の他、卒業学位授与式への参加と優秀学生への表彰、ガイダンスやオリエンテーションへの参加も行い、建築同窓会の啓発に努めております。

最後になりましたが、会員の皆様には、今後も建築同窓会への物心両面にわたるご支援とご協力を重ね重ねお願いするとともに、皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



建築学科長

寺西 浩司

名城大学建築同窓会の皆様におかれましては、平素より建築学科のためにご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

学科の近況としては、本年3月に宿里勝信准教授が定年のため、また、柳沢究准教授が他大学への移籍のために退職され、その一方で、4月から、松田和浩准教授(構造系)が新しく着任されます。昨年度に既に3名の教員を新しくお迎えしていますので、建築学科の教員の入替わりがまた一段と進むこととなります。ますます若返った教授陣が、これまで以上に充実した教育を学生に提供し、また、社会貢献できるような研究に邁進していくことと期待しています。

学生の状況としては、就職に関しては、相変わらず、建設会社・ハウスメーカーなどを中心に求人が堅調です。また、入試に関しては、昨年の入試で、例年に比べてかなり多くの受験がありました。本年も、昨年と同様に、建築学科に対して多くの受験があるようです。学科を取り巻く環境は、このように、今のところ、比較的明るいといえますが、今後は、オリンピック後の建設需要の落ち込みや、少子化に伴う受験生の減少などが予想され、これらのことを考えると、手をこまねいて見ていてよい状況ともいえません。

このようなことから、建築学科では、昨年度に、アドミッションポリシー(入学者受入れ方針)、カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施方針)、ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与方針)をより明確な形に整備しました。また、これらのポリシーを反映し、かつ、社会の新しい要請に柔軟に対応できるように、平成30年4月からのカリキュラムを改編する準備を進めようとしているところです。さらに、大学のMS-26(Meijo Strategy-2026)推進事業の枠組みを活用して、加子母木匠塾、地域企業と連携したプロジェクトなどの学生参加型の新しい取組みにも研究室単位で積極的にチャレンジしています。

一方、大学院は、学部在先駆けて、本年4月から新しいカリキュラムに移行します。このカリキュラムは、専門分野に偏り過ぎることなく、より幅広い知識を修得できるように配慮したものです。また、オムニバス形式の講義科目や、学外での活動を単位認定する科目、複数教員によるスタジオ型の設計科目などの先進的・意欲的な科目も新設しています。最近、残念なことに、大学院に進学する学生が少なくなっていますが、これらの取組みにより魅力を増した大学院に、より多くの学生が進学してくれることを願っています。

最後になりましたが、同窓会の皆様方におかれましては、益々のご活躍を祈念しますとともに、今後の建築学科の一層の発展にご尽力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年度情報交流会

第22回建築同窓会情報交流会が「母校との絆」を合言葉に、去る平成28年11月19日(土)に名城大学天白キャンパスにて開催されました。一昨年以来の大学での開催となりましたが、講演会が本科を2001年に卒業され、海外でも活躍されている板坂諭氏という事もあり、例年に比べ学生の出席者が多く見受けられました。

時間の制約もあり質問時間が多く取れなく残念ではありましたが、講演の中で、広い世界に飛び出すよう板坂氏が発言された時、学生達の目が輝いていたのが印象的でした。

今後も卒業生のみならず学生との交流が図れる場として、色々な嗜好を凝らし有意義な会となるようにしていきたいと考えますので、会員の皆様の御支援をお願いします。



▲学長祝辞



▲懇親会

建築同窓会事業・経済交流委員会

支部だより

『関西支部』だより

関西支部 支部長 鈴木 自 (昭和47年卒)

関西支部長の鈴木です。宜しく申し上げます。関西支部も発足して13年(最初の兵庫支部発足から20年)経過しました。兵庫、奈良、大阪、滋賀、和歌山に各地区がおかれ、各地区持ち回りで総会を開催し、その地区の地区長が支部長を務めています。

本年度は兵庫地区の担当として支部長を仰せつかっております。昨年度の総会は滋賀県の東近江市にある重要伝統的建造物群保存地区である五個荘金堂地区にて2016年6月に開催されました。20数名の方が参加され、近江商人の本宅群や伝統的な農村住宅が並び、寺社や水田が一体となった景観を堪能して頂きました。

本年度の総会はホテル北野プラザ六甲荘(神戸市)にて5月28日(日)開催すべく準備中です。まずは新幹線神戸駅の近くの竹中工道具館を見学(木工室での実習も可)して頂きその後、ここも重要伝統的建造物群保存地区である神戸市北野町山本通り近くにある総会会場に移動します。総会後は30棟近くある異人館と呼ばれる洋風建築や重油文化財の旧トーマス邸などが見学できます。多くの同窓生、ご家族の方々に神戸の街並みを散策し異人館の情緒をお楽しみ頂きたいと思っております。さて関西支部は総会をメインとして各種行事を通じ旧交を温めております。昨年は兵庫地区同窓会会員の手掛けた明石市の登録文化財である岩佐邸の見学会や、県内建築士を中心に組織されている兵庫ヘリテージ機構の会員でもある同窓生の方を中心にヘリテージマネージャー(歴史文化遺産活用推進員)の役割について勉強会を開催致しました。

又関西支部では名城大学建築同窓会関西支部のホームページを開設し情報の発信をしています。一人でも多くの同窓生が情報を交換できるよう、現在有志でいろいろ作成ができるよう勉強中です。関西支部も年々総会の参加者も少なくなり、どのように多くの会員の方々に参加して頂き実のある同窓会にするべきか模索中です。建築という学問を通して、地域の古い建物の保存、活用、まちづくり等色々な活躍の場がある事を学ぶ機会にもなります。

1度も総会等に参加されていない方また以前参加され最近されていない方も是非総会に参加下さい。きっと新しい発見や出会いがあると思います。

支部長 鈴木 自(おさむ) TEL.078-927-7924

事務局 小巻 弘幸 TEL.078-912-7182

関西支部HP <http://meijyo.wp.xdomain.jp/>



■『岐阜県支部』だより

岐阜県支部 支部長 水谷 武（昭和34年卒）

昨年の建築同窓会会報に掲載したように、支部総会への参加者の高齢化と固定化の問題を抱えながら今年も6月に定時総会を開催する予定です。まだ一度も支部の会合に参加したことのない卒業生の皆さん、今年こそ是非出席してみてください。今年も例年の総会と変わりがないようでしたら、岐阜県支部は解散するほかはありません。

名城大学建築同窓会岐阜県支部連絡事務所 清水敏生 TEL.058-323-2012

■『東三河支部』だより

東三河鮎会 山本 利州

新年に思う

約20年前に東三河鮎会の25周年を盛大に行って以来の集いを、昨年12月22日豊橋市内のなじみのお店「蕎麦匠まつや」さんにて、有志での食事会という形で行うことができました。熟年のパワー、懐かしさで盛り上がり、さらにこの東三河鮎会の立役者でまだまだ現役の坂崎日支夫先輩も駆けつけていただき大感激でした。

この十数年間、私事の都合でこの支部も開店休業した状態で皆さんには失礼しておりましたが、今回の食事会で勇気づけられた思いです。

さらに今年1月22日(株)オノコムの名城会新年会に招待いただき参加、卒業生が社内に13名もいることに感激し、若い人で25歳の青年達にいろいろ話を聞くことができ、名城大学で建築を勉強した仲間がこんなに多数身近に存在している状況は数十年前にはこの東三河では想像できなかった現況を再認識し、浦島太郎の自分に反省しきりです。

これから何か新しい形で仲間が集って、建築を含め楽しいしゃべくりができそうな予感を感じました。まだ先輩たちが頑張っている時に若い人たちにバトンタッチし、この東三河鮎会を新しい楽しい会にスイッチオンして存在感をアピールしていこうかと新年思いました。

東三河地方で活躍している皆さん、何でもいいから情報を下さい。東三河の事務局はオノコムの高野さんと中西さんをお願いしてあります。

連絡先 豊橋市鍵田町36番地 株式会社オノコム内

TEL.0532-55-7700

メール takano@onocom.co.jp

また集いを考えていますので是非ご協力お願いします。

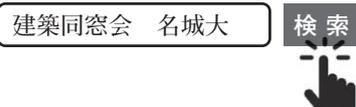


名城大学建築同窓会ホームページのご案内

名城大学建築部同窓会は本年度より新規にホームページを立ち上げました。

新たな情報発信のツールとして同窓会、建築学科、学生の皆さまにさまざまな情報の橋渡しができるよう充実させて行きたいと思っておりますので多くの皆様にアクセスしていただきます様お願い申し上げます。

建築同窓会
会報・名簿・IT委員会



建築学科教職員

教 授	建 築 計 画	鈴 木 博 志	准 教 授	建 築 構 造	高 橋 広 人
〃	建 築 計 画	高 井 宏 之	〃	建 築 計 画	谷 田 真 〇
〃	建 築 材 料	寺 西 浩 司	〃	建 築 材 料	平 岩 隆
〃	建 築 構 造	武 藤 厚	〃	歴 史 意 匠	三 浦 彩 子 〇
〃	建 築 構 造	村 田 賢 〇	〃	建 築 構 造	松 田 和 浩
准 教 授	建 築 計 画	生 田 京 子	〃	建 築 計 画	柳 沢 究
〃	環 境 計 画	石 井 仁	〃	環 境 計 画	吉 永 美 香
〃	建 築 構 造	大 塚 貴 弘	助 教	歴 史 意 匠	米 澤 貴 紀
〃	環 境 計 画	岡 田 恭 明 〇			

〇印は名城大学卒業生

建築同窓会賞

建築同窓会は、学部卒業生及び大学院修了生の優秀者に建築同窓会賞を贈り表彰しています。受賞者は、各研究室が表彰候補者を選出し、学科より同窓会に推薦して決定しました。下記の受賞者には、学位記授与式にて建築同窓会会長より表彰状を授与します。

平成28年度同窓会賞候補者

澤 井 大(生田研)	亀山雄基+杉本将規(高井研)	佐治知陽+武藤拓実+渡邊武蔵(武藤研)	矢 田 直(米澤研)
田 中 美 妃(石井研)	藤 代 奨 也(谷田研)	小 野 雄 貴(村田研)	
横 井 健 人(大塚研)	加藤領一+伊藤彩香(寺西研)	田 中 達 矢(宿里研)	
中 村 太 亮(岡田研)	中 野 志 保(三浦研)	児 玉 春 香(柳沢研)	

就職・進路の動向

高井 宏之（就職・進路支援委員）

はじめに

本年度の建築及び関連業界の求人状況は、旺盛な建設需要を背景に大変良好でした。また、現在進行中の新4年生・M2分についても引き続き良好であり、多くの企業の方が求人に来られます。しかし、わが国の経済基盤は基本的に脆弱、昨今の欧米の政治・社会の激変の中で、世界経済の行方は大変不透明であり、依然として求人は予断を許さない状況にあります。

一方、就職活動スケジュールは「3月情報解禁、6月選考開始」が3年目となり定着しました。しかし、求人活動と紙一重の1日程度のインターンシップも一般化。マイナビなど就職情報サイトにはインターンシップ生を募集するページまで登場しました。優秀な人材を確保したいという企業とビジネスセンスに長ける就職産業の思惑が交錯する状況は、今も昔も変わりません。

就職先の状況

数年来の就職先の状況としては、総合建設業が30%、住宅産業が20%、設計事務所と官公庁は7%、建材メーカーなどが5%と推移してきました。これに対し上記の社会背景から、図1の通り昨年度は特に総合建設業等（サブコン含む）の割合が大となりました。職種は施工管理・設備施工管理が主であり、全国展開の大企業から東海地区の中堅企業まで幅広く就職しています。なお、住宅産業の割合は低下しましたが求人状況は堅調で、学生の希望者も多くいます。

一方、入学当初は多数の学生が建築デザイン分野を希望していますが、設計事務所や総合建設業の設計部での求人は少ないこと、および労働時間や待遇面を勘案し、住宅産業に流れる学生は少なくありません。しかし、所員の年齢構成の関係で、ここ数年中小設計事務所から直接求人が少なからず寄せられるようになり、徐々に風向きは変わってきています。

なお、大学院進学は12%で私立理系の全国平均約40%を大きく下回っています。全国的な大学院の進学率は30年前に比べ3倍となっており、また当学科学生は学力面や建築的実力的で同レベルの他大学に全く遜色はないため、この進学率向上が喫緊の課題と考えています。この認識のもと、平成29年度より大学院の魅力強化を目的に、より実践的／専門分野横断的な科目を強化する新カリキュラムをスタートします。

就職活動と就職支援

キャリアセンターでは3年やM1を対象に「ガイダンス」「模擬試験」「各種セミナー」等多くの就職支援を行っています。建築学科でもキャリアセンターや土木系2学科と共同で、学生の視野を広げることを目的に幅広い産業に声かけを行い、2月に業界研究セミナーを開催しました。

就職活動への心構え

最近就活に臨む学生の志向を表す言葉として「新3K」を耳にしました。勤務地・給与・休暇だそうです。やりがいはどこに行ったのかという素朴な疑問を持ちます。また、就職に関わる親の影響力もより強くなってきていることも気がかりです。総じて建築は好きでなければやっていけない分野であり、とことんのめり込まないと喜びや達成感を得ることはできない奥の深さがあります。自分自身の強い意志のもと、高い目標や志を持ち、充実した人生を歩んだなあ実感できるような仕事選び、そして就職後の不断の努力をしてほしいと願っています。

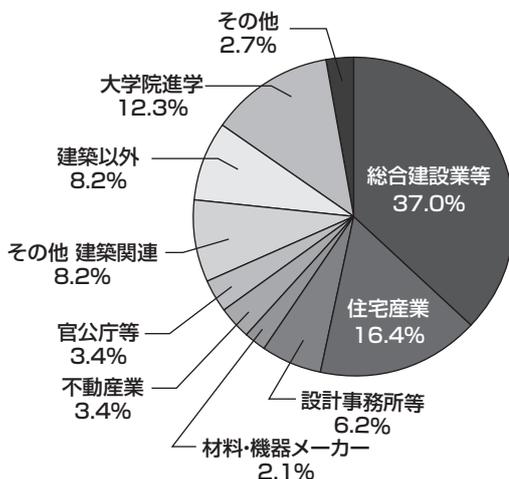


図1 昨年度の卒業生(学部)の就職先

平成27年度事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

① 総務委員会

- 1) 学内行事の学位記授与式には学生会員に対して援助を実施しました。
- 2) 会議の開催
通常総会 (6/14)
役員会 (4/16、5/21、7/14、9/2、9/29、11/17、12/22、2/17) 計8回
正副会長会 (5/8)
評議員会 (5/21)
- 3) 慶弔に関する事務を執り行ないました。
- 4) 建築同窓会活動への協力支援を実施いたしました。
- 5) 第21回情報交流会 (平成27年11月28日開催)への支援をしました。
- 6) 学内各行事への参加並びに協力支援をしました。

② 財政委員会

- 平成27年11月 11日 年会費納入案内発送 会員・新会員 517通
12日 年会費納入案内発送 平成27年度卒業生 108通
12日 年会費納入案内発送 平成26年度卒業生 110通
16日 年会費納入案内発送 1年生・保護者様 119通
16日 年会費納入案内発送 2年生・保護者様 100通
18日 年会費納入案内発送 3、4年生・保護者様 124通
18日 年会費納入案内発送 平成25年度卒業生 84通
19日 第1回財政委員会 3名
- 平成28年3月 18日 建築学科卒業祝賀会 受付にて年会費納入依頼(2名出席)
3月 29日 2・3・4年ガイダンス時、年会費・プライバシーポリシー記入提出依頼
- 新規永年会員お礼状発送 8通
年会費納入のお礼状発送 156通
会費納入学生会員、卒業生全員にお礼状発送 103通

③ 事業・経済交流委員会

- 1) 第21回情報交流会を開催しました。
平成27年11月28日(土)アリス愛知にて開催。
伊藤京子様による講演や名城大学モダンジャズ研究会によるジャズコンサートを行いました。
参加総数94名(会員60名+招待者26名+学生4名+バンドメンバー4名)

④ 会報・名簿・IT委員会

- 1) 建築同窓会会報(143号-A4版)を8,500部発行しました。(前号と同数)
- 2) 在学生会員に配布。会員6,168人(前年は6,401人)には郵送しました。
- 3) 名簿の追加、訂正を行いました。
- 4) ホームページ刷新の準備をしました。

⑤ 組織委員会

- 平成27年 8月 4日(火) 第1回組織委員会開催(嘉文栄本店)
新役員の顔合わせ会
- 平成27年10月 5日(月) 第2回組織委員会開催(名駅サテライト会議室)
平成27年情報交流会について内容報告
- 平成28年 2月23日(火) 第3回組織委員会開催(名駅サテライト会議室)
・建築同窓会HP更新について
・平成27年度活動報告及び平成28年度活動計画(案)について
- 平成28年 3月26日(土) 第4回組織委員会開催(ぎふメディアコスモス)
施設見学会

平成27年度決算報告

項目	予算額	決算額	備考
学生会員会費	1,000,000	1,030,000	学生会員会費(H26卒含む)103名 情報交流会
事業収入	1,000,000	704,000	
理工同窓会援助金及び学生会員援助金	346,900	361,000	
建築同窓会年会費	1,200,000	708,000	年会費156名(うち新規14名)、H27永年会員会費名
寄付金	100,000	37,000	
利子及び雑収入	800	603	利子(元帳+各委員会)・他
活動準備金より充当		211,174	
合計	3,647,700	3,051,777	

項目	予算額	予算内訳	決算額	
総務委員会	540,000	会議費	110,000	194,450
		慶弔費	100,000	152,980
		学科支援費	200,000	120,000
		運営費	130,000	75,000
		合計	540,000	542,430
財政委員会	180,000	郵送費	110,000	95,284
		印刷費	15,000	80,300
		運営費	55,000	41,120
合計	180,000	180,000	216,704	
事業・経済交流委員会	1,020,000	見学等事業運営費	20,000	0
		経済交流運営費	1,000,000	724,678
		合計	1,020,000	724,678
会報・名簿・IT委員会	1,620,000	会報印刷費	950,000	894,089
		会報郵送費	590,000	476,518
		名簿調査作成費	50,000	50,000
		ホームページ作成費	20,000	0
		運営費	10,000	2,688
		合計	1,620,000	1,423,295
組織委員会	230,000	支那援助・設立準備費	140,000	60,000
		旅費	20,000	39,840
		運営費	70,000	44,830
		合計	230,000	144,670
予備費	57,700	合計	57,700	0
合計	3,647,700	合計	3,647,700	3,051,777

平成27年度期首財産(平成27年4月1日)前年度繰越金		
周年事業積立金(H25~H26の繰越額)	1,500,000	
活動準備金	2,197,366	
		3,697,366
平成27年度期末財産(平成28年3月31日)次年度繰越金		
前年度繰越金	3,697,366	
周年事業積立金(H25~H26の繰越額)	1,500,000	
周年事業積立金(H27年度)	100,000	
収入への充当金(活動準備金から)	-211,174	
		3,486,192

平成27年度会計報告承諾

名城大学建築同窓会27年度(2015年)会計報告書を帳簿、領収書等により監査したところ適正であることを認めます。

2016年(平成28年4月13日)

監事 荒川 建昭

監事 安藤 洋

平成28年度事業計画

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

① 総務委員会

事業計画(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

- 1) 学内行事の学位授与式には学生会員に対して援助を実施。
- 2) 会議の開催
 - ・通常総会開催 平成28年6月12日(日) 午前9時30分～10時20分
天白キャンパス共通講義棟南館S504教室
 - ・役員会開催 7～8回を予定 総務委員会 1～2回開催
 - ・評議委員会開催 平成28年5月12日(木) 校友会館第1会議室 午後6時30分
 - ・正副会長会議 平成28年4月26日(火)ほか、2～3回開催
- 3) 慶弔に関する事務
- 4) 学内各行事への参加と協力支援・協賛等で、同窓会と学内の連携強化を図る。
- 5) 第22回情報交流会への支援。
- 6) 開学90周年事業に向けた会員への周知活動、並びに協力の実施。

② 財政委員会

- 1) 前年に引き続きガイドスにて学生会員へ会費の納入をお願いする。
- 2) 同窓会として会費の納入と共に在校生にプライバシーポリシーによる学生の名簿も充実する取り組みをする。
- 3) 会員への年会費納入案内を発送する。
- 4) 学生会員・保護者様へ会費納入案内を発送する。
- 5) 卒業生(27年度)へ会費納入案内を発送する。
- 6) 会費納入会員へ礼状ハガキを発送する。
- 7) 財政委員会を年2回程度、開催する。

③ 事業・経済交流委員会

- 1) 第22回情報交流会開催予定
平成28年11月26日(土) 天白キャンパスにて開催予定。

④ 会報・名簿・IT委員会

- 1) 建築同窓会会報(144号-A4版)を8,500部発行。
- 2) 在学生会員に配布。会員には郵送(全員送付最終)。
- 3) 名簿の追加、訂正。
- 4) 新ホームページの立ち上げ。(平成28年5月末予定)
- 5) ホームページ協賛企業の募集。

⑤ 組織委員会

- 平成28年 4月 第1回組織委員会開催
新役員の顔合わせ会
- 平成28年 6月 第2回組織委員会開催
理工・建築同窓会総会について内容報告
- 平成28年10月 第3回組織委員会開催
平成28年情報交流会について内容報告
- 平成29年 2月 第4回組織委員会開催
平成28年度活動報告及び平成29年度活動計画(案)について
- 平成29年 3月 第5回組織委員会開催
施設見学会開催予定

平成28年度予算

項目	予算額	備考
学生会員会費	1,000,000	学生会員会費 ¥10,000×100名 情報交流会参加費等
事業収入	1,000,000	
理工同窓会援助金及び学生会員援助金	360,000	¥3,000×300名 永年会費¥30,000×10名
建築同窓会年会費	1,200,000	
HP協賛金	800,000	
寄付金	100,000	
利子及び雑収入	800	
繰入金	500,000	周年事業積立金から繰り入れ(開学90周年寄付金相当額)
合計	4,960,800	

項目	予算額	予算内訳	
総務委員会	540,000	会議費	110,000
		慶弔費	150,000
		学科支援費	150,000
		運営費	130,000
		合計	540,000
財政委員会	230,000	郵送費	100,000
		印刷費	85,000
		運営費	45,000
合計	230,000		
事業・経済交流委員会	1,020,000	見学等事業運営費	20,000
		経済交流運営費	1,000,000
合計	1,020,000		
会報・名簿・IT委員会	2,400,000	会報印刷費	950,000
		会報郵送費	590,000
		名簿調査作成費	50,000
		HP制作・管理費	800,000
		運営費	10,000
合計	2,400,000		
組織委員会	230,000	支部援助・設立準備金	100,000
		旅費	80,000
		運営費	50,000
合計	230,000		
開学90周年寄付金	500,000	寄付金	500,000
合計	500,000		
予備費	40,800	合計	40,800
合計	4,960,800	合計	4,960,800

財産の部	平成28年度期首財産(平成28年4月1日)前年度繰越金	
	周年事業積立金(H25～H27の繰越額)	1,600,000
	うち、収入への繰出金	500,000
	活動準備金	1,886,192
		3,486,192

平成29年 建築同窓会総会のご案内

平成28年度の建築同窓会の総会を下記により開催いたします。多くの同窓生のご参加をお待ちしております。

●とき 平成29年6月11日(日)

●ところ 名城大学 天白キャンパス内

9:30～建築同窓会総会 共通講義棟南館S504

10:30～理工同窓会総会 共通講義棟南館S201

11:30～講演会 共通講義棟南館S201

13:00～懇親会 タワー75 15階レセプションホール

詳細につきましては、下記の理工同窓会ホームページにおいてもごらんになれます。

理工ホームページ meijyo-rikou-dousoukai.jp/

第23回 情報交換会開催のご案内

第23回情報交換会を開催いたします。多くの同窓生のご参加をお待ちしております。

●とき 平成29年12月2日(土)

●ところ KKRホテル名古屋

第22回情報交換会も平成28年11月19日に盛大に開催することができました。会員各位のご協力に感謝いたします。第23回は上記の日程で予定しております。詳しくはHPにてご案内します。

名城大学建築同窓会 経済交流委員会

名城大学建築同窓会会則

第1章 総 則

- (名称)
第1条 本会は名城大学建築同窓会と称する。
- (事務所)
第2条 本会の事務所は名城大学理工学部建築学科内に置く。
- (支部)
第3条 1. 本会は役員会の承認を得て原則として地域単位とする支部を設置することができる。
2. 支部細則は必要に応じ役員会の議決を経て設けることができる。

- (目的)
第4条 本会は会員相互の親睦を図ると共に地域社会への貢献、文化の振興を図り名城大学及び名城大学建築学科の隆盛発展に寄与することを目的とする。

- (事業)
第5条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 会員名簿の整備
2. 会報の発行及びホームページに会報の情報掲載
3. 懇親会、見学会、講演会及び研究会等の開催。
4. 学生会員に対する援助
5. その他本会の目的を達成するために必要な事業。

第2章 会 員

- (組織)
第6条 本会は会員、特別会員、名誉会員を以て組織する。
- (会員の資格)
第7条 本会会員となる資格は次の各項の定めるところによる。
1. 会 員 (1) 名古屋専門学校応用物理建築分科卒業生。
(2) 名城大学理工学部建設工学科建築分科卒業生。
(3) 名城大学理工学部建築学科卒業生。
(4) 名城大学大学院工学研究科建築学専攻修了生。
(5) 名城大学大学院理工学研究科建築学専攻修了生。
(6) 前(1)～(5)項に籍を置く者で役員会で承認した者は会員に準ずる。
2. 名誉会員 本会に功勞のあるもので総会の承認するもの。
3. 学生会員 前1項の(3)、(4)在籍者。
4. 特別会員 名城大学理工学部建築学科の教職員。
5. 賛助会員 個人または団体で本会の事業を賛助するもので評議員会の承認を得たもの。
- (会費)
第8条 1. 年会費は3,000円とする。納入した会費は返却しない。
2. 60才以上の会員が永年会費30,000円を納入した場合は、以降の年会費を免除する。
3. 学生会員は、卒業後5年迄の会費10,000円を納入する。

第3章 総 会

- (総会の召集)
第9条 1. 通常総会は毎年1回事業年度終了後3ヵ月以内に会長が召集する。
2. 臨時総会は評議員会または役員会で必要と認めるとき会長が召集する。
- (総会の通知)
第10条 総会の召集はその2週間前までに日時・場所を示した文書、又は校友会会報をもって会員及び名誉会員に通知しなければならない。
- (総会の議決事項)
第11条 総会では次の事項を議決する。
1. 事業報告、収支予算ならびに財産目録の承認に関する事項。
2. 事業計画及び予算に関する事項。
3. 重要な財産の取得、処分に関する事項。
4. 評議員会、役員会で必要と認められた事項。
5. 評議員会における選出役員を承認する事項。
- (総会の議決)
第12条 1. 総会の議事は出席会員の過半数の同意で成立する。
2. 議事の議決同意が可否同数の時は議長が決める。
3. 総会の議長は出席会員の中から選任する。
- (議事録)
第13条 1. 議長は総会の議事について議事録を作らなければならない。
2. 議長は議事録署名人を出席会員の中から選任する。

第4章 役員及び会議

- (役員)
第14条 1. 本会には次の役員を置く。
(1) 名誉会長 1名 (7) 常任幹事 若干名
(2) 会 長 1名 (8) 委員長 専門委員会
(3) 副会長 6名以内 (9) 会 計 1名(補佐1名)
(4) 監 事 2名
(5) 支 部 長 各支部1名
(6) 学内幹事 若干名
2. 本会には相談役及び参与を置くことができる。
相談役は役員会に諮って会長が推薦する。
参与は本会の役員であった者の中から会長が推薦する。
相談役、参与は本会の諮問に応ずる。
- (役員を選出)
第15条 1. 会長、副会長、会計、監事は評議員会の推薦により選出する。
2. 名誉会長は建築学科長がこれにあたる。
3. 支部長は支部を構成する正会員の中から選出する。
4. 学内幹事は学内の会員及び特別会員の中から互選により選出する。
5. 常任幹事は会長の推薦により会員の中から選出する。
- (役員職務)
第16条 1. 会長は本会を代表し会務を総理し評議員会役員会等の議長となる。
2. 副会長は会長を補佐し会長に事故ある時はその職務を代理する。
3. 支部長は支部を代表し支部の会務を掌理する。
4. 学内幹事は学科内の意見を集約し会との疎通を図る。
5. 常任幹事は会長の補佐として各事業を援助する。
6. 委員長は各専門委員会を代表し、委員会の会務を掌理する。
7. 会計は本会の会計事務を行う。

8. 監事は年1回以上本会の事業及び会計監査を行いその結果を総会に報告する。

- (役員任期)
第17条 1. 役員任期は2年とする。
2. 補欠による役員任期は前任者の残任期間とする。
3. 役員は再任を妨げない。
4. 役員は任期中に退任しようとするときは評議員会の承認を必要とする。

- (役員会)
第18条 1. 役員会は本会の運営を円滑にするための執行機関である。
2. 役員会は名誉会長、会長、副会長、監事、各支部長、常任幹事、学内幹事、各委員長、会計、会計補佐によって構成する。尚 相談役、参与については会長が必要に応じ出席を求める。
3. 役員会は役員過半数の出席をもって会議が成立し、出席者の過半数の同意がなければ議決することができない。尚出席出来ない時は委任状を議長宛に提出し、議決権行使することが出来る。

- (専門委員会)
第19条 1. 専門委員会は第4条の目的と第5条の事業を円滑に達成するために評議員及び会員の中から若干名を選出し、これを構成する。
2. 専門委員会は次による。
(1) 総務委員会 (5) 組織委員会
(2) 財政委員会 (6) その他必要となる委員会
(3) 事業・経済交流委員会
(4) 会報・名簿・IT委員会

第5章 評議員及び評議員会

- (評議員)
第20条 1. 本会は会員の卒業年度の代表として評議員を選出する。
2. 評議員は評議員の推薦による。又は各期会員の中から選出する。
- (評議員任期)
第21条 1. 評議員の任期は2年とし、再任を妨げない。
2. 評議員が欠けた場合の補充評議員の任期は前任者の残任期間とする。
- (評議員会)
第22条 1. 評議員会は役員及び各期評議員で構成し会長が必要と認められた場合に会長がこれを召集する。
- (評議員会開催)
第23条 1. 評議員会は定例評議員会と臨時評議員会とする。
2. 定例評議員会は、毎年総会の1箇月前とする。
3. 臨時評議員会は役員会で必要と認めるとき、または評議員の3分の1以上の要請があったときに開催する。
4. 評議員会の召集は議案を付して10日前までに通知しなければならない。
- (評議員の議決)
第24条 1. 評議員会における議事の議決は総会に準ずる。
- (評議員の審議事項)
第25条 1. 評議員会の審議事項は、次の各号に定めるところによる。
2. 総会の付議事項に関する事。
3. 役員選出に関する事。
4. その他必要と認める重要事項。

第6章 資産及び会計

- (基本資産)
第26条 基本資産は会費、寄付金及び助成金でこれを構成する。
- (経費の支弁)
第27条 本会の経費は基本資産ならびに事業から生ずる収入でこれを支弁する。(事業年度)
第28条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。(特別会計)
第29条 本会に特別会計を設けることができる。

第7章 雑 則

- 第30条 本会則は総会の議決によって変更することができる。
第31条 本会は会務運営及び第5条の事業遂行のために必要な委員会及び部会を設けることができる。

附 則

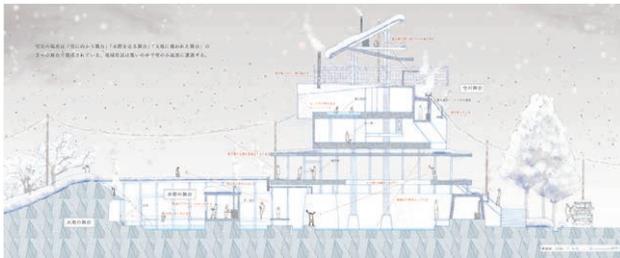
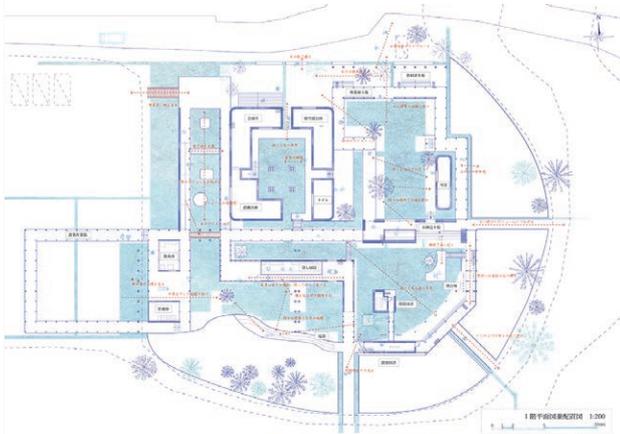
- (1) 本会則は、昭和38年9月22日より施行する。
(2) 昭和45年 9月14日会則一部改正及び訂正施行する。
(3) 昭和51年 8月 7日会則一部改正施行する。
(4) 昭和57年 9月12日会則一部改正及び訂正施行する。
(5) 昭和60年 9月 8日会則一部改正及び訂正施行する。
(6) 平成元年 9月17日会則一部改正及び訂正施行する。
(7) 平成 5年 9月18日会則一部改正及び訂正施行する。
(8) 平成 6年 9月25日会則一部改正及び訂正施行する。
(9) 平成 7年 9月24日会則一部改正施行する。
(10) 平成 8年 9月21日会則一部改正及び訂正施行する。
(11) 平成10年 9月20日会則一部改正及び訂正施行する。
(12) 平成12年10月 1日会則一部改正及び訂正施行する。
(13) 平成13年 9月30日会則一部改正及び訂正施行する。
(14) 平成18年 9月10日会則一部改正及び訂正施行する。
(15) 平成19年 9月30日会則一部改正及び訂正施行する。
(16) 平成20年 9月28日会則一部改正及び訂正施行する。
(17) 平成23年 6月19日会則一部改正及び訂正施行する。
(18) 平成28年 6月12日会則一部改正及び訂正施行する。

優秀賞(学会巡回展)

水口 敬悠

白雪の舞台:

豪雪地帯における雪景色の再編集と構築



概要

建築技術の向上や車社会の発展に伴い失った文化の中に雪見の文化がある。現在の雪国では街が雪で埋もれ、日々の除雪作業や雪対策に追われる人々の姿などが点在する。雪月花という言葉があるように本来日本人は邪魔となっている雪でさえも風景の美しさと捉え楽しんだ。人々が集まり雪を愛で交流するような風景を取り戻したいと考えた。敷地は岐阜県郡上市白鳥町石徹白地区、日本三大霊山の一つである白山の美濃側の要所として栄え自然信仰の白山信仰が根強く残っている地域を対象とする。この地域には2~3mの降雪があり冬季には陸の孤島となる。春~秋は自然の恩恵に対しお祭りや神事がされるが冬には住民は雪対策をし、住宅に引きこもってしまう。集落の雪囲いや融雪池などの対策が空間として住民が景色を眺めることができなくなっている原因と捉え、それらを現状の風景として抽出、空間にするためのアイデアとして利用する。住民たちにとっての雪を閉ざす工夫や風景の断片を集積し、新しい雪景色に変換する建築として生まれ変わる。機能として集落に必要な購買部や雪見風呂、小規模の宿泊施設を取り入れることで気軽に住民たちが立ち寄れる場所とし、そこに雪の風景が介在する建築を提案します。

Q 製作日数は?

構想 5か月 制作 2か月

Q かかった費用は?

およそ6万円

Q この作品を作ったきっかけは?

自分の経験から卒業設計を考えたいと思いました。子供の時は毎日外に出て雪を触って遊んでいて楽しかった記憶がたくさんありました。しかし自分が大きくなり通学に支障が出たり祖父が除雪中の事故に遭ったことで印象が一変しました。世の中に雪を不便なものと感じている人がたくさんいることが身をもって実感しました。そういう人々に向けた雪の憩いの場所を作りたい、自分の負の記憶に向き合うきっかけにしたいと考えました。

Q ここが一番こだわったというところは?

雪の表現です。白い雪を図面やパースでどうやって表現したら良いかを実際の雪を眺めたり、様々な絵画を見たりして研究しました。

Q 制作中辛かったことは?

設計課題でできたスケジュール管理や形を決めることが全然できなく、途中で自分を失いそうになったことです。

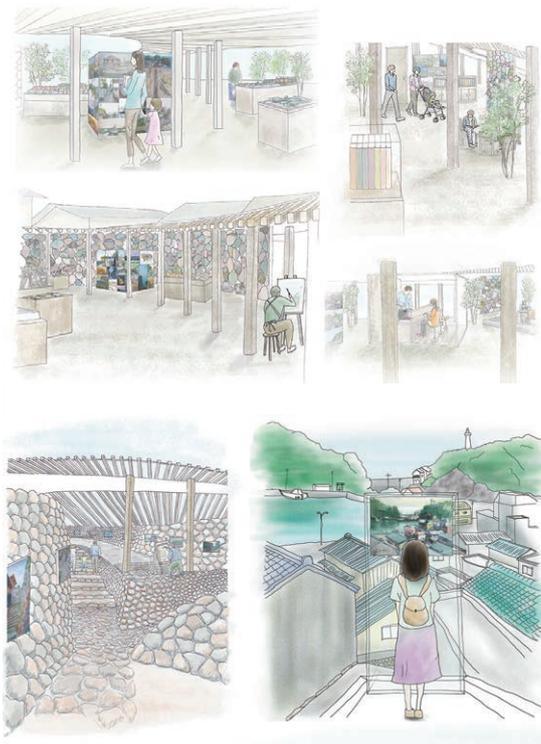
Q 今後について教えてください

来年度より名古屋の国公立の大学院に進学します。忙しい日々の中で自分のスキルを着実に高め、まちにとって良いデザインや風景は何かを追求したいと考えています。

優秀賞(愛知建築総合展)

濱口 結香

絵かきの町美術館:町と絵をつなぐ地域の拠点



概要

地元の人のみならず、全国から絵を描くために訪れる「絵かきの町」として知られる町があります。三重県志摩市大王町波切地区です。断崖に打ち寄せる波濤、暗礁を照らす白亜の灯台とともに、迷路のような石坂の町並み特徴で、町の風情が創作意欲を掻き立て、プロアムを問わず誰もがキャンパスを広げて絵を描いています。しかし、描かれた絵をこの町で見ることはほとんどありません。この町で描かれた絵は、その時の時代によっての町の姿を絵という形で残し続けています。私が問題視しているのは、町の記憶でもある大切な絵が描かれた後蓄積されることなく散逸してしまうこと、絵かきさんと絵との関わりがないことです。絵というメディアを集積し、町の記憶としていくことを目的とします。そして、この町で描かれた絵を知らない人々とそれに伴い次第に失われつつある描かれた絵を町の記憶として共有・継承していくための絵かきの町美術館を提案します。有名な芸術家の作品だけを飾るだけの従来の一方向的な展示を行う美術館ではなく、町で描かれた絵であれば、訪れた人誰もが絵が展示できます。町には古くからの細い坂道が多くあり、周辺の土地は空き家や空き地になってしまう場所がほとんどです。その空き家と空き地を利用し、1つの坂に対して1つの美術館を作っていきます。絵の収蔵数がいっぱいになるたびに美術館が町に増えていきます。絵と町を結ぶために「絵を見る空間」と「町の機能」を挿入し、昔からある石垣や絵の壁、空き家(基礎)の空間で、絵の展示方法や機能を分けます。絵かきさんが描いた絵を町の記憶として集積・共有する美術館を町の中に作り出し、日常的に町の人々も関わることで、風景や文化を衰退させることなく本来の絵かきの町へと変わる未来を期待します。

Q 製作日数は?

構想 11ヶ月 制作 2ヶ月

Q かかった費用は?

模型材料費など6万円程度

Q この作品を作ったきっかけは?

絵かきの町で育った私は、小さい頃から町の風景などの絵を描いていました。町では絵かきさんが絵を描いたり、学校の写生大会など何度も絵を描く機会もあるのに絵を見る機会が少ないことに疑問を感じていました。絵は町の姿を刻々と写しだしています。絵には本当に残すべき町の風景や記憶や魅力が凝縮されていると思っています。人々に描かれ続けてきた町だからこそ、絵が町の歴史を刻んでいくものではないかと思ひ、絵を集積し継承すべきだと考え今回の提案に至りました。

Q ここが一番こだわっているというところは?

ただ絵を集めるだけの美術館じゃない、この作品から絵かきの町にとっての絵を集積していくことの大切さが伝わって欲しいと思いながら製作していました。

Q 制作中辛かったことは?

毎日椅子に座ったまま眠りにつくことや毎日お風呂に入れるわけではない期間が辛かったです。ですが、毎日手伝いさんが来てくれることで、辛くても楽しいことの方が多かったように思います。つらい時期だからこそ楽しませてくれたお手伝いさんに本当に感謝しています。

Q 今後について教えてください

4月からは自分で会社を運営していくので、建築だけにとらわれずに様々な仕事にチャレンジしていきたいです。